2020年度電子情報工学実験Ⅲ ボードコンピュータ実験 第3部QtSPIMを用いた実験 (Mac版)

立命館大学　電子情報工学科

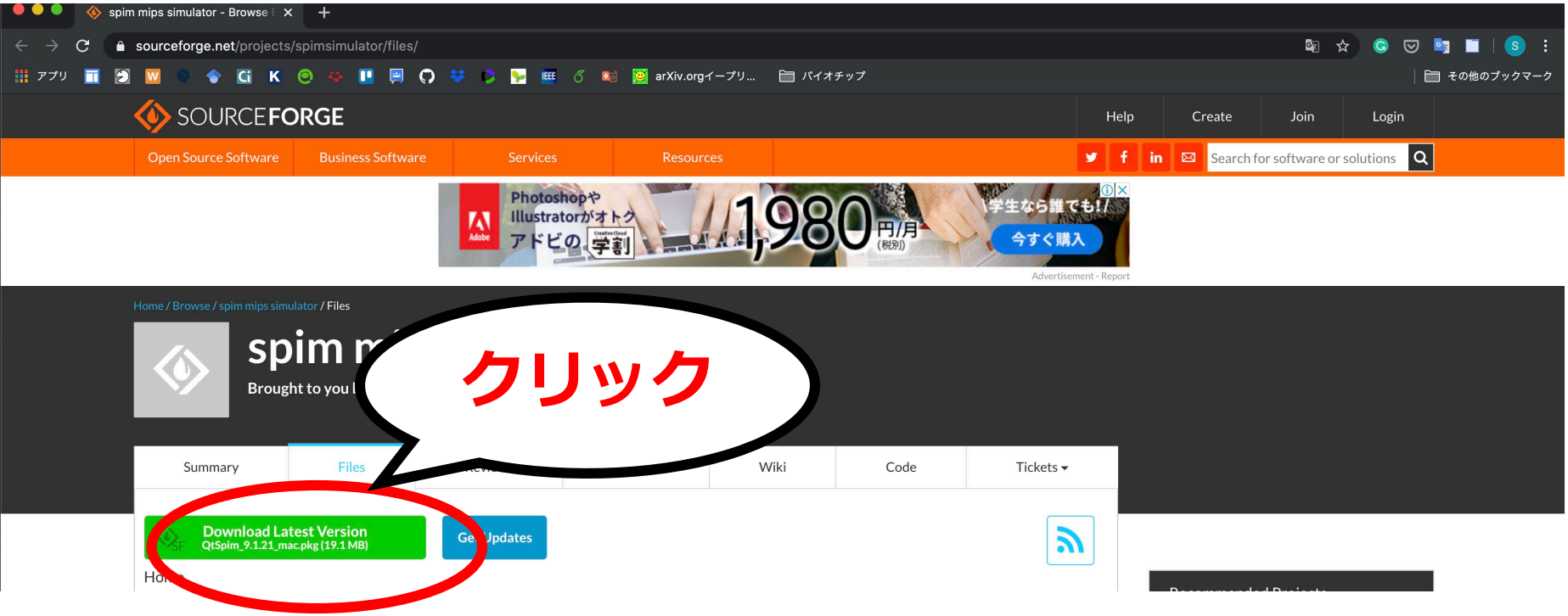
孟 林, 伊藤 哲

2020/6/3

1.QtSPIMをインストール

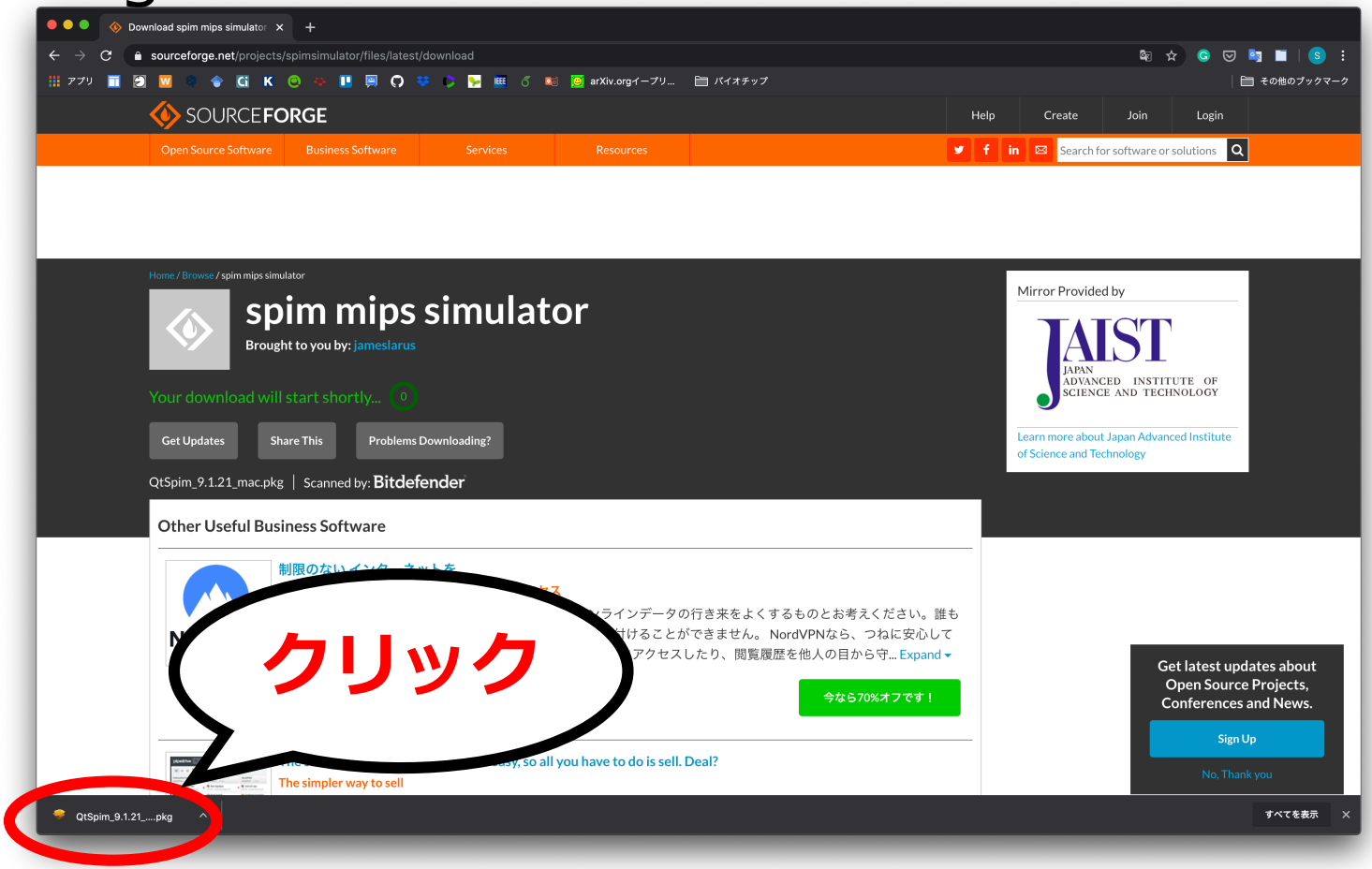
QtSPIMをインストール

- https://sourceforge.net/projects/spimsimulator/files/



QtSPIMをインストール

- Google Chromeの場合



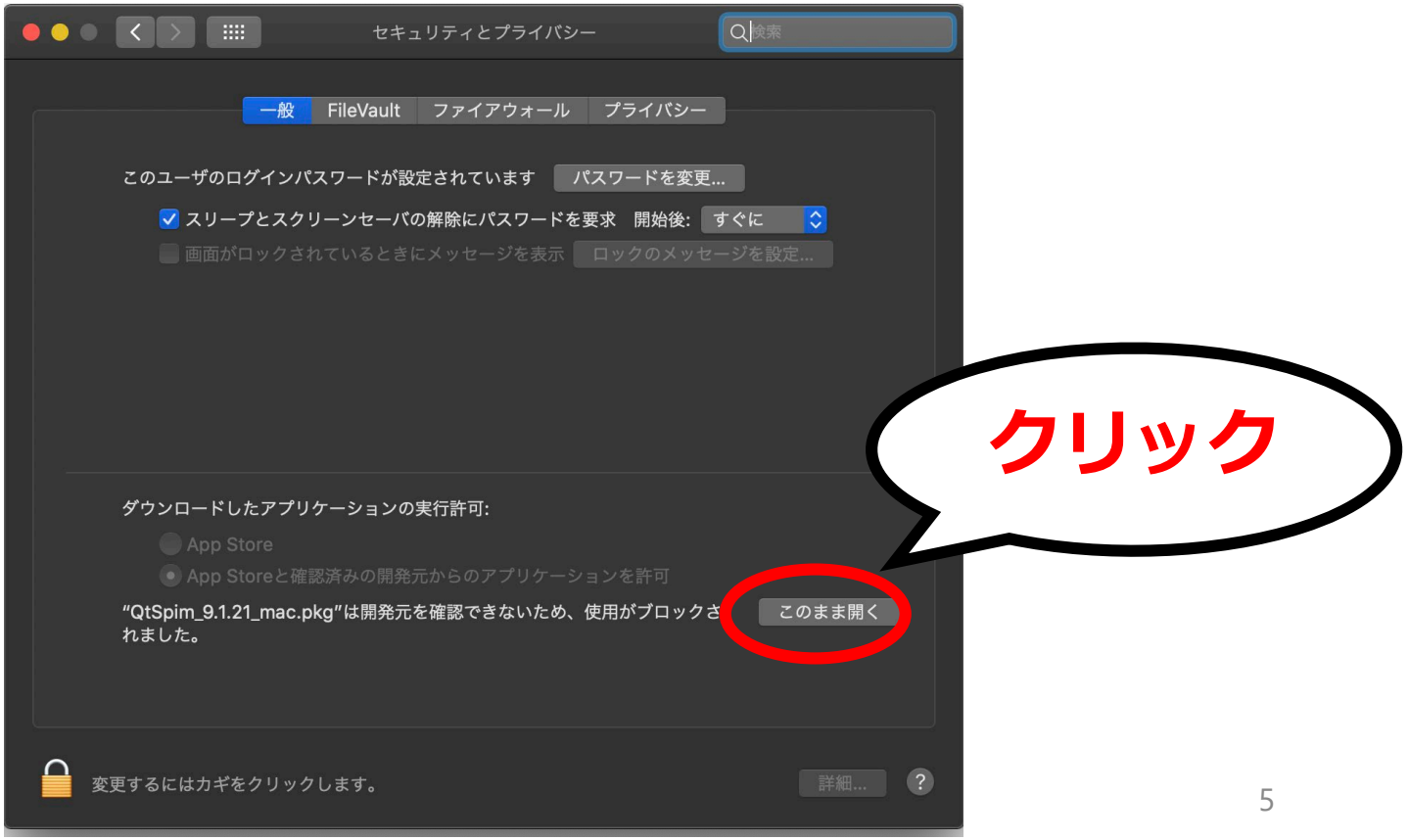
QtSPIMをインストール

- 出る人と出ない人がいるかも

出た場合は
”システム環境設定”>”セキュリティーとプライバシー”

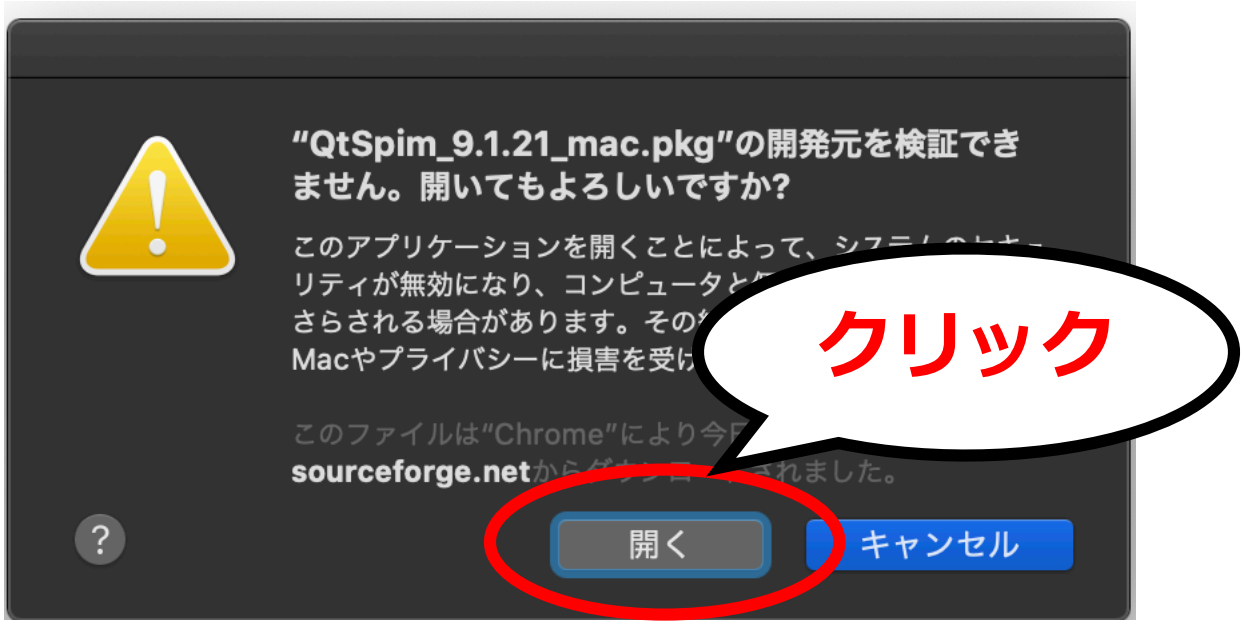
QtSPIMをインストール

- “システム環境設定>セキュリティーとプライバシー>一般”このまま開くをクリック



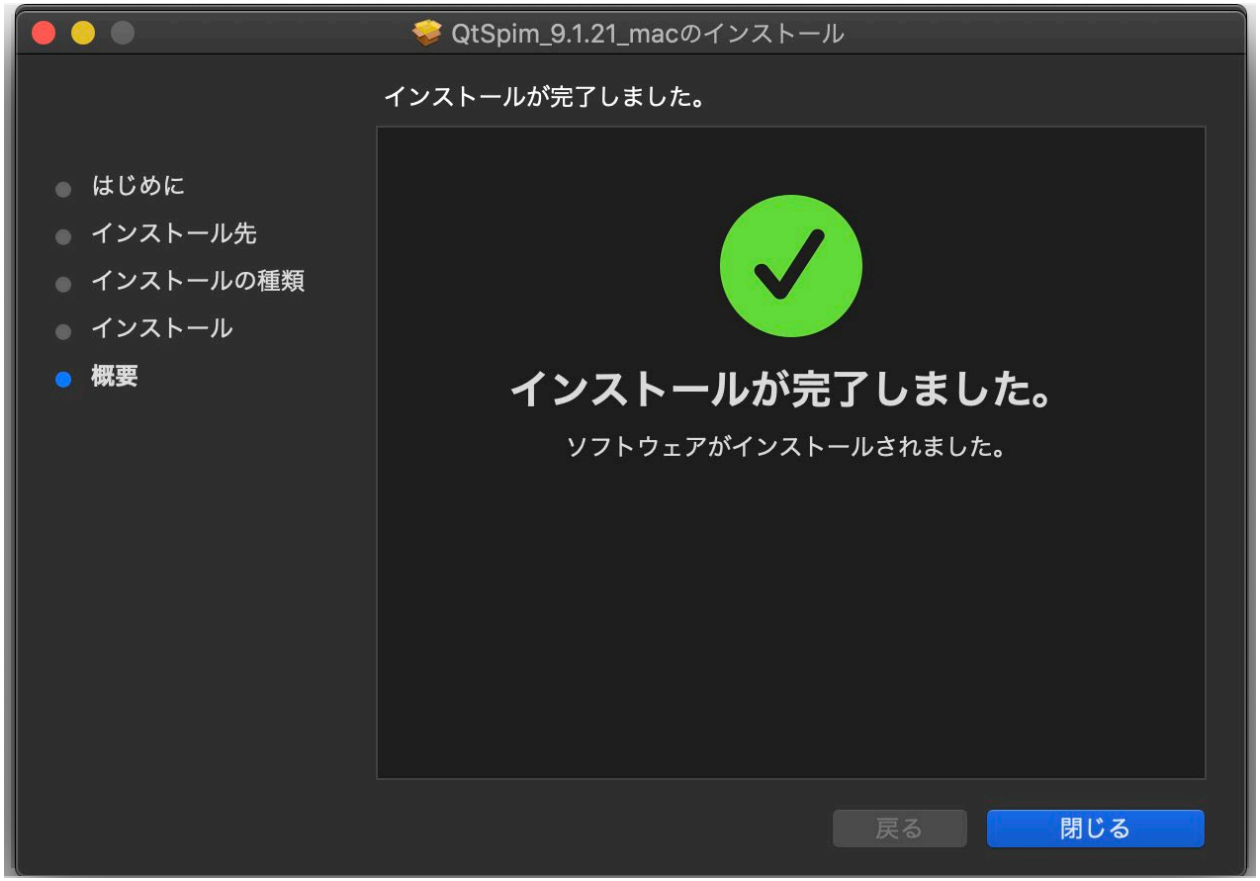
QtSPIMをインストール

- 新しくウィンドウが立ち上がる
  →開くをクリック



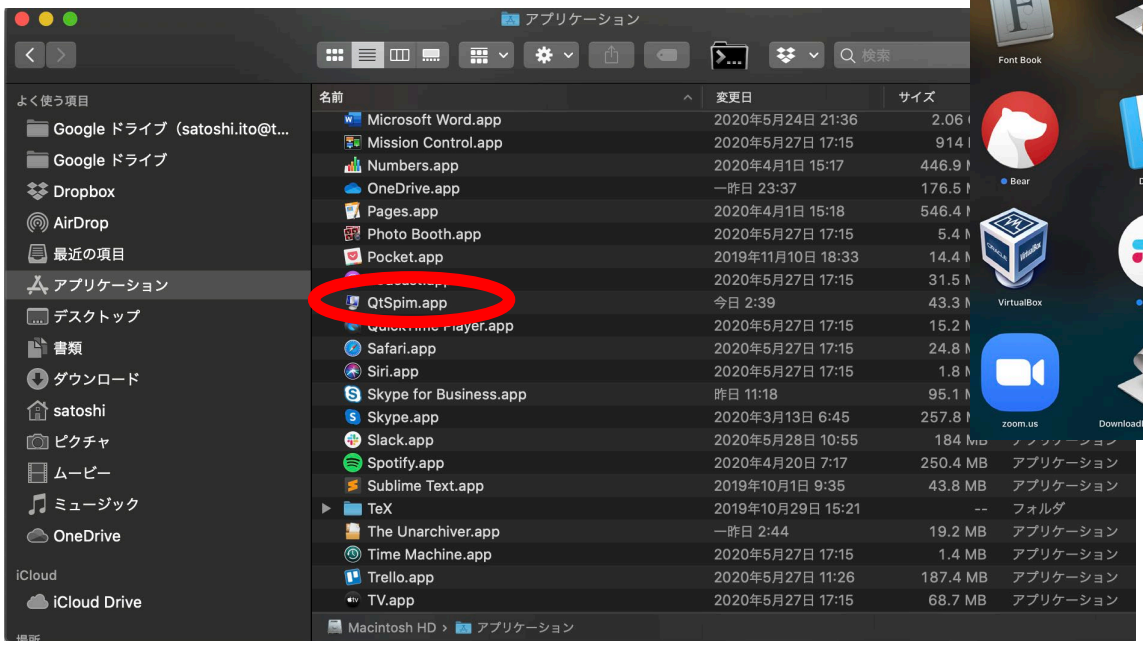
QtSPIMをインストール

- 新しくウィンドウが立ち上がり“続ける→続ける→インストール”の順にクリック



QtSPIMをインストール

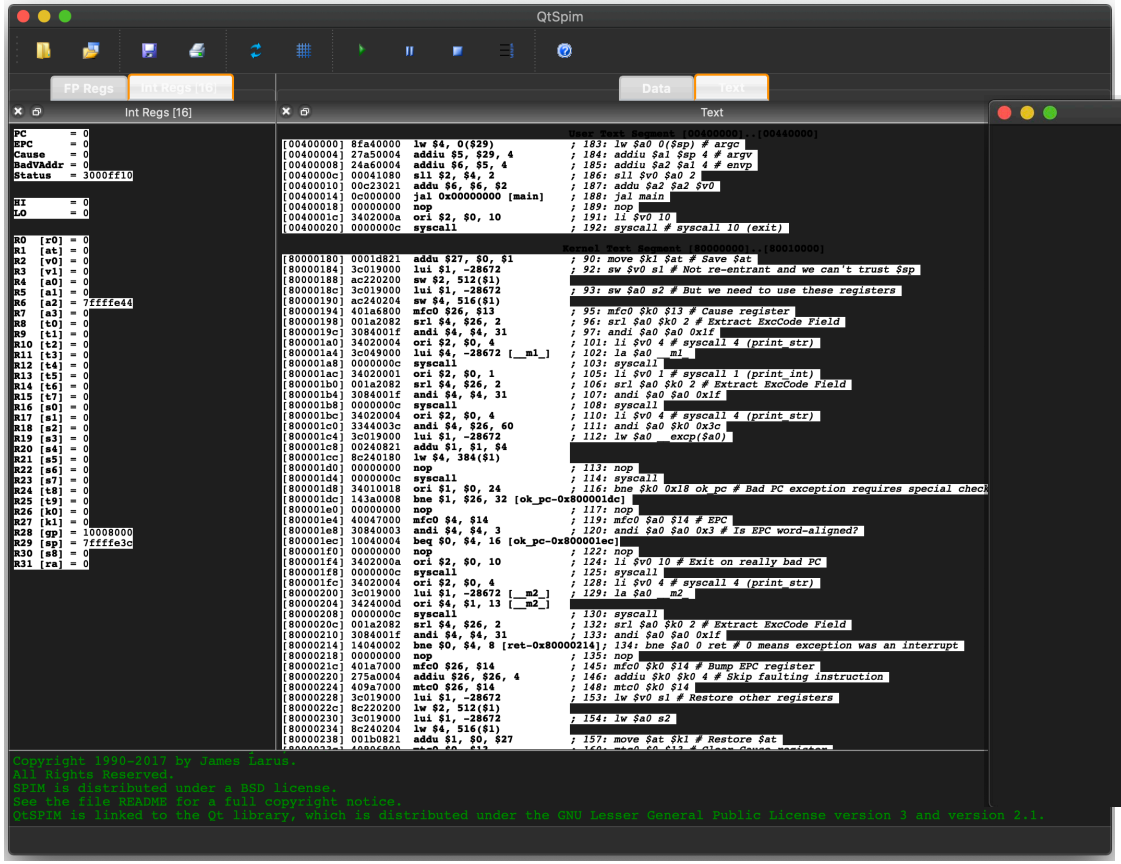
- Launchpadもしくはアプリケーションフォルダからを探し起動



2.初期設定

初期設定

- QtSpimを起動すると2つのウィンドウが立ち上がる



Macダークモード一部適応外に

- 立ち上げたときのウィンドウが見にくいと思った方用
- ターミナルを立ち上げ以下のコマンドを記入

$osascript –e ‘id of app ”QtSpim”

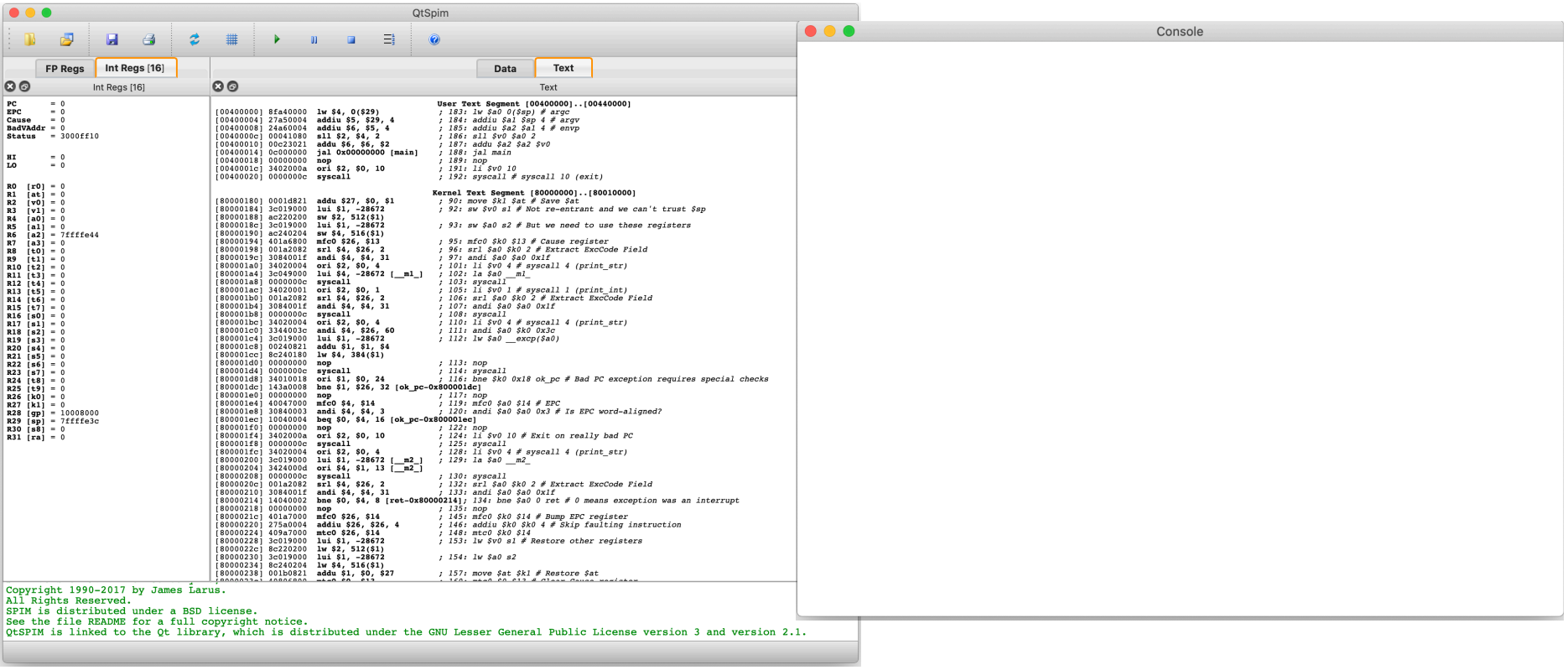
- 出力された名前を覚えておく
- 以下のコマンドの名前と書かれたところに先程出力された名前を記入

$defaults write 名前 NSRequiresAquaSystemAppearance -bool yes

参考: https://note.com/wecken/n/ncbd7715e863c

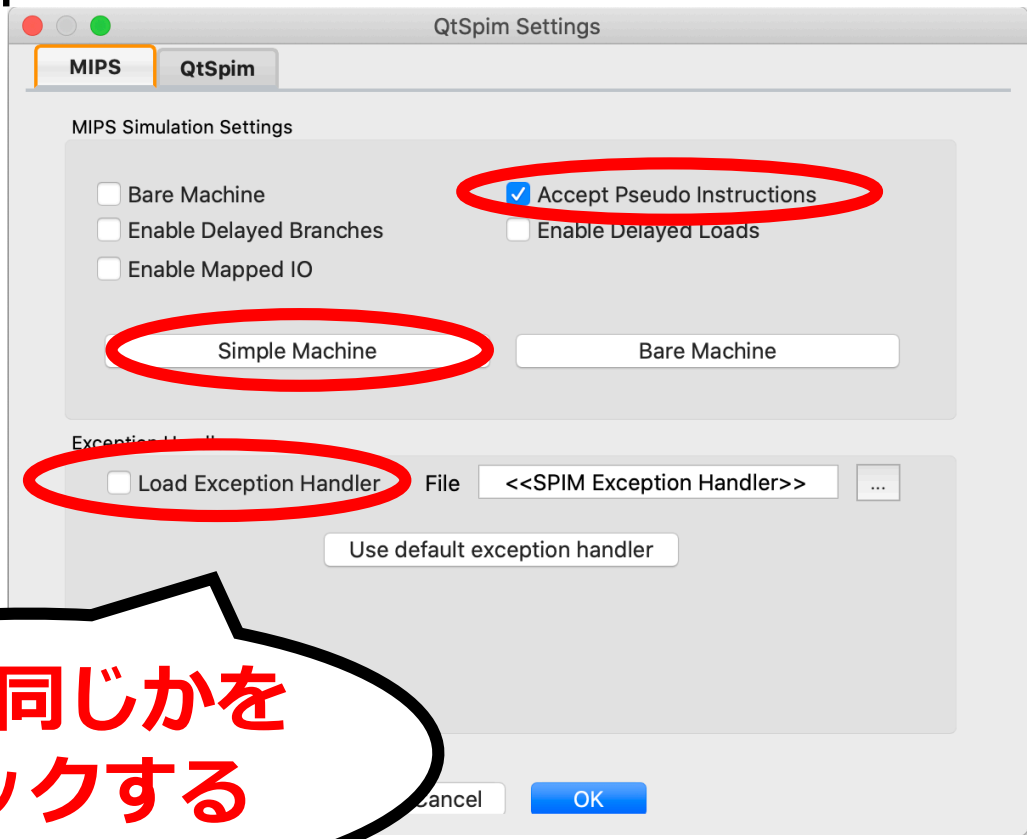
Macダークモード一部適応外に

- QtSpimを再起動するとダークモードが適応されなくなる



初期設定

- 画面上部のメニューバーから”QtSpim>Preferences”を選択

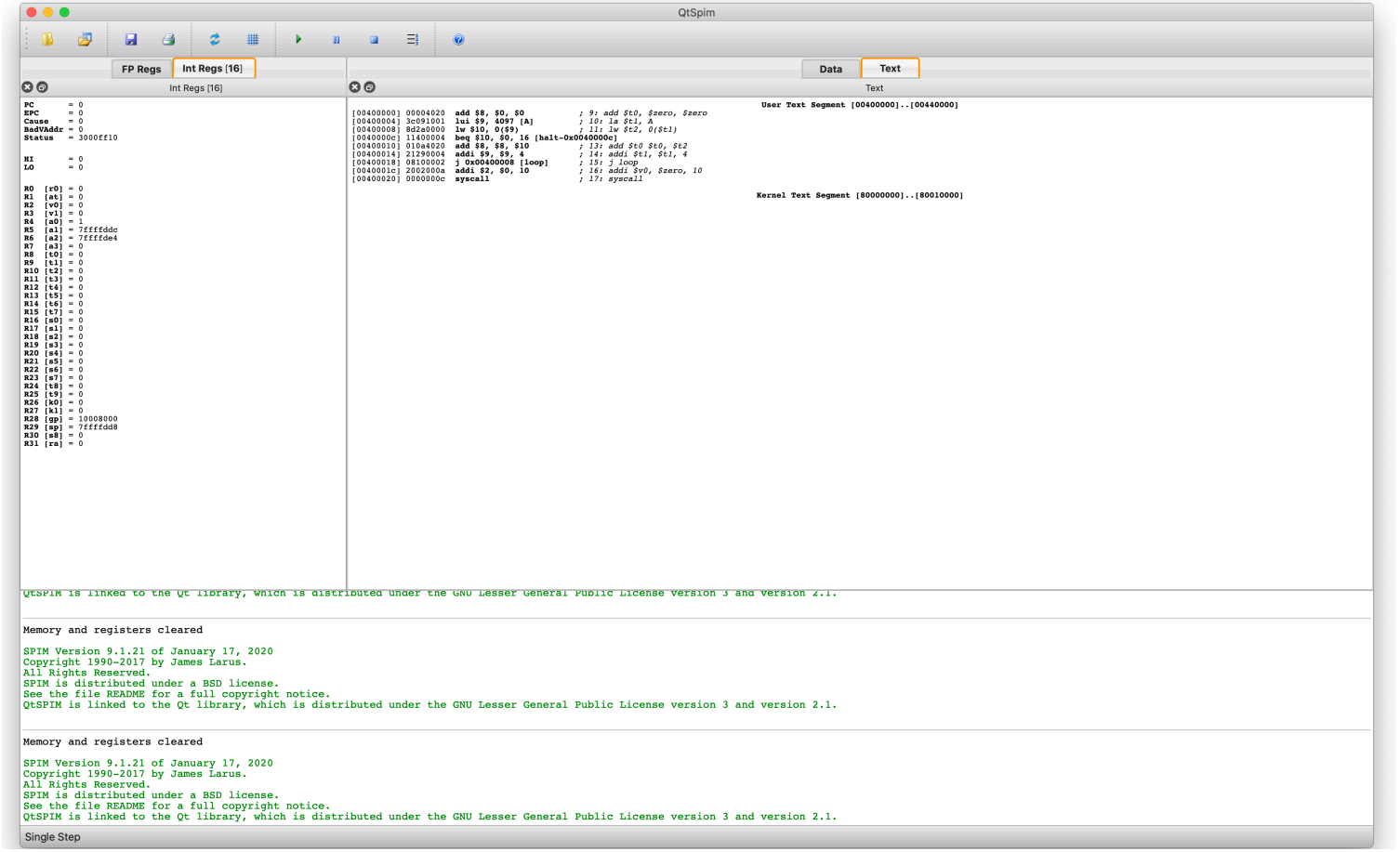


設定が同じかを
チェックする

例題4-1(P29)

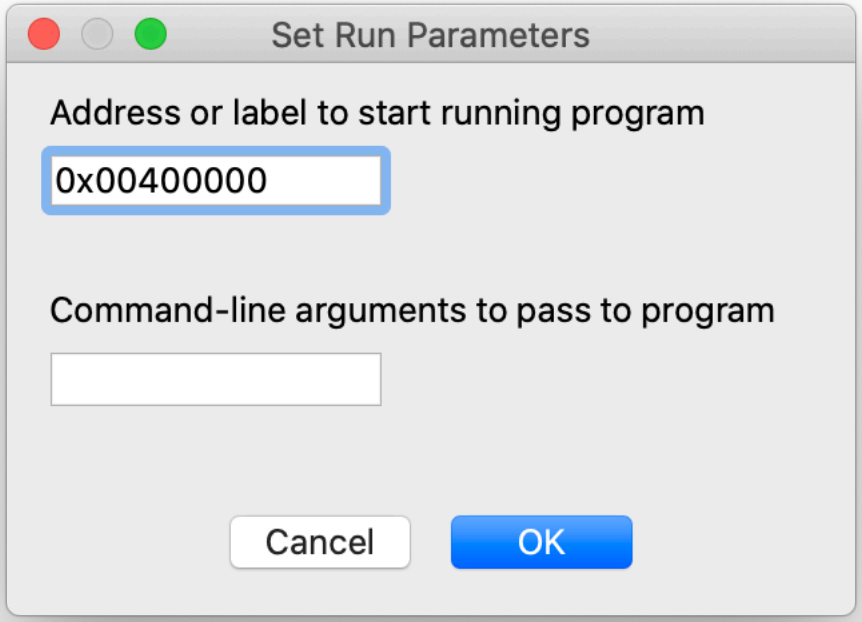
例題4-1

- P29に記載されているプログラムを作成する
- “File>Load File”から先程作成したプログラムをロードする



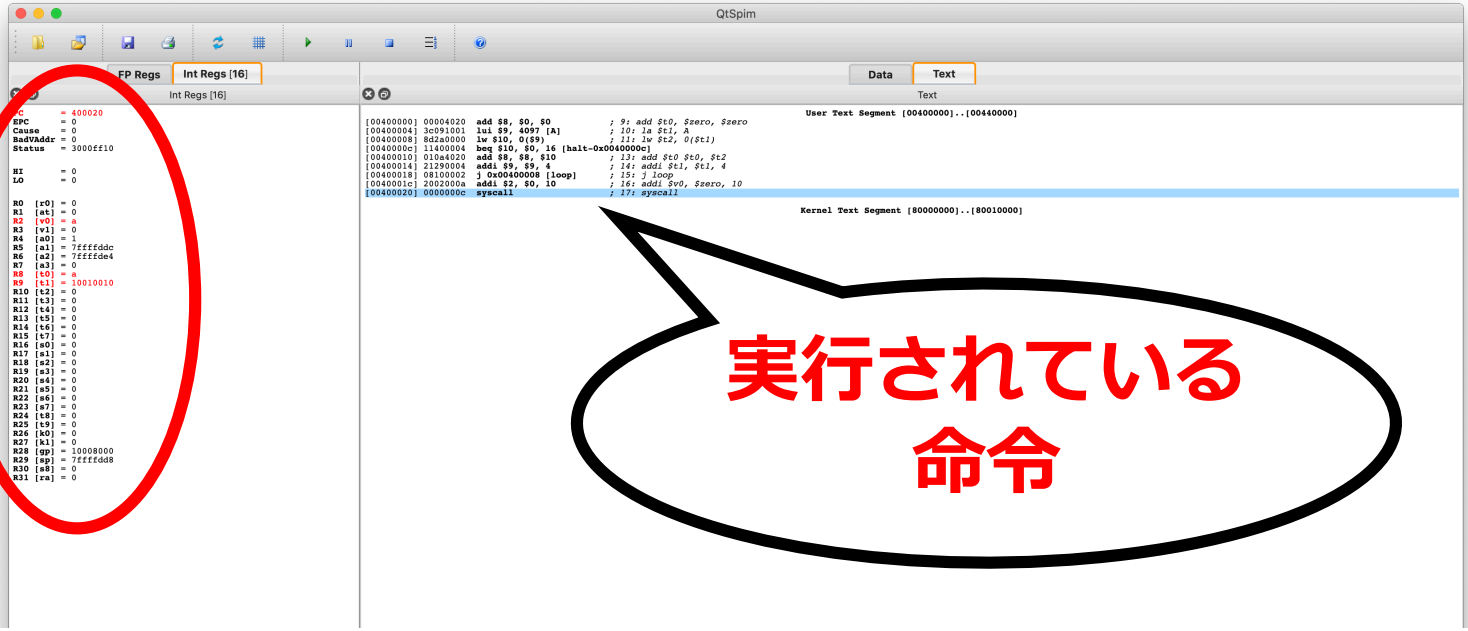
例題4-1

- “Simulator>Run Parameters”最初から実行する場合は0x00400000番地に設定



例題4-1

- “Simulator>Run/Continue”もしくは”Simulator>Single Step”を実行することでシミュレーションを行うことができるレジスタの値に変化がある場合は赤く表示される



資料

主な機能①

- QtSPIMを起動したあと上部のFileメニュー

Load file	ソースファイルをロード
Reinitialize and Load file	シミュレータを初期化 ソースファイルをロード
Exit	シミュレータを終了

主な機能②

- QtSPIMを起動したあと上部のSimulateメニュー

Reinitialize Simulator	シミュレータを初期化
Run Parameters	実行パラメータを設定
Run/Continue	プログラムを実行/再開
Stop	プログラムの実行を停止
Single Step	1命令ごとの実行

デバック機能

- テキスト領域で右クリックをすると breakpointを設定できる
- プログラム実行中にbreakpointに到達すると 以下のメニューが表示される

Continue	プログラムの実行を継続
Single Step	1命令だけを実行
Abort	プログラムの実行を停止